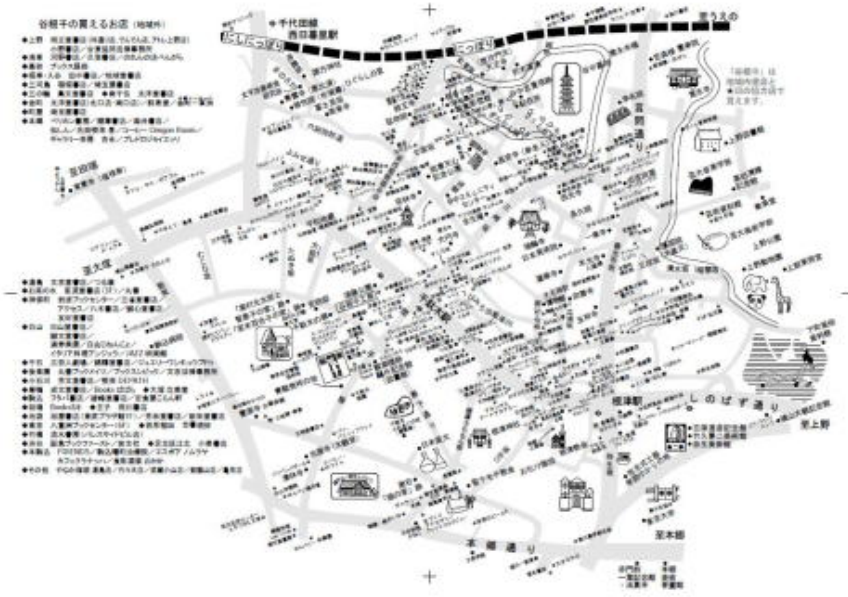


特大テーマ展示

やねせん
「谷根千と作家」

～5月末



(画像をクリックすると谷根千の地図がPDFで開きます。
地図は谷根千ネット さんよりご提供いただきました。ありがとうございます)

皆さんは、「谷根千」という言葉を聞いたことがありますでしょうか？

「谷根千」とは、東京都台東区と文京区にある、谷中・根津・千駄木の地域を総称した呼び名のことで、作家の森まゆみ氏らが立ち上げた地域雑誌の中で、この土地を紹介して以来、この名前が定着しました。

「谷根千」は昔から、文豪たちが好んだ町で知られています。かつては森鷗外・夏目漱石などがこの地に住居を定めました。

また、「谷根千」は、お墓や寺などが多い場所としても知られています。有名人が多く眠る谷中墓地や幸田露伴の「五重塔」で知られる「天王寺」などがあります。

最近、ここの下町的な情緒が脚光をあびることとなり、週末には大勢の人が散策を楽しみにやってきます。「おぼけ階段」・「夕やけだんだん」「団子坂」など、変わった地名もあります。と同時に、ここは野良猫達のサンクチュアリでもあり、至る所でゴロゴロ太った猫を見かけることができます。

今回、配本センターでは、普段、書庫に眠っている全集をはじめ、文学史や作家論、散策用のガイドブックなどを150冊揃えてみました。豊橋からかなり遠いところではありますが、近代文学発祥の地として、一度おとずれてみたい場所であります。
当館にお越しいただくとともに、是非、本を手にとってご覧ください。

※この特集は終了しました。

豊橋市図書館 配本センター
〒440-0862 豊橋市向山大池町20番地の1
TEL.0532-62-2944

